



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月8日

上場会社名 クラボウ(倉敷紡績株式会社)
 コード番号 3106 URL <http://www.kurabo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 藤田 晴哉
 問合せ先責任者(役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 藤井 裕詞
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 06-6266-5136

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	78,913	0.8	2,436	0.9	2,708	14.5	1,717	28.6
29年3月期第2四半期	78,277	8.7	2,415	64.4	2,364	46.8	1,335	35.0

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 3,816百万円 (%) 29年3月期第2四半期 226百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	7.58	
29年3月期第2四半期	5.89	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	181,223	98,812	52.7
29年3月期	181,529	96,244	51.2

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 95,471百万円 29年3月期 92,962百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		5.00	5.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

30年3月期期末配当金(予想)の内訳 普通配当 6円00銭 記念配当 1円00銭(創立130周年記念配当)

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	166,000	2.6	6,500	5.5	7,000	6.4	4,700	31.0	20.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	242,939,284 株	29年3月期	242,939,284 株
----------	---------------	--------	---------------

期末自己株式数

30年3月期2Q	16,577,509 株	29年3月期	16,315,904 株
----------	--------------	--------	--------------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	226,546,121 株	29年3月期2Q	226,637,892 株
----------	---------------	----------	---------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	10
3. その他	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成29年4月1日～平成29年9月30日）におけるわが国経済は、企業収益は高水準を保ち、雇用・所得環境も改善傾向が続くなど、景気は緩やかながら回復基調で推移しました。一方、北朝鮮問題や各地で相次ぐテロなど、地政学的リスクが高まりました。

このような環境下において当社グループは、2年目を迎えた中期経営計画「Advance'18」の基本方針である「収益拡大に向けた事業変革」のもと、将来市場を見据えたマーケット志向型事業への転換を図り、高付加価値かつ高収益ビジネスの追求、技術革新と新規事業創出などに注力しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は789億円（前年同期比0.8%増）、営業利益は24億3千万円（同0.9%増）、経常利益は27億円（同14.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は17億1千万円（同28.6%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(繊維事業)

ユニフォーム分野は、需要が安定して推移したことに加え、付加価値商品の販売増加により堅調でした。

カジュアル分野は、主力販売先向けが増加しましたが、原糸分野は、全般的に低調に推移し、減収となりました。

海外子会社におきましては、東南アジアは輸出・国内とも堅調に推移し、ブラジルも業績が回復基調にあり、増収となりました。

この結果、売上高は325億円（前年同期比6.6%減）、営業利益は3億1千万円（同2.9%減）となりました。

(化成品事業)

自動車分野では、全体的に底堅く推移する中で、特にフィルター向け不織布などが好調でした。また、ブラジル子会社は、新規顧客への販売が本格化したことにより業績が改善しました。

機能樹脂分野は、文具向けフィルムなどが順調に推移し、半導体製造向け樹脂加工品も好調で、増収となりました。

住宅建材分野は、外装用化粧材やエクステリア商品が低調に推移し、減収となりました。

この結果、売上高は293億円（前年同期比5.0%増）となりましたが、原材料の高騰などコストアップにより営業利益は8億9千万円（同0.9%減）となりました。

(環境メカトロニクス事業)

エレクトロニクス分野は、飲料容器の検査装置が低調に推移し、また半導体洗浄関連装置の大型案件が減少した影響もありましたが、基板検査装置や液体成分濃度計が順調で、増収となりました。

エンジニアリング分野は、バイオマス発電プラントの大型物件の完工により大幅な増収となりましたが、工事費用の増加により利益面ではきびしい状況となりました。

バイオメディカル分野は、核酸自動分離装置が低調に推移し、減収となりました。

工作機械分野は、国内販売が順調に推移しましたが、海外は米国や中国向けが低調で、売上高は前年同期並みとなりました。

この結果、売上高は100億円（前年同期比20.4%増）、営業利益は9百万円（前年同期は営業損失1億2千万円）となりました。

(食品・サービス事業)

食品分野は、健康食品向け製品が低調に推移しましたが、即席めん具材及びスープ市場向け製品が好調で、売上高は前年同期並みとなりました。

ホテル分野は、宿泊部門は堅調に推移しましたが、ゴルフ練習場の閉鎖の影響などにより、減収となりました。

この結果、売上高は48億円（前年同期比3.0%減）、営業利益は4億2千万円（同12.9%減）となりました。

(不動産事業)

賃貸事業の推進に注力した結果、売上高は21億円（前年同期比0.1%減）となり、修繕費などのコスト増の影響により営業利益は15億3千万円（同2.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、投資有価証券や現金及び預金は増加しましたが、たな卸資産や売上債権が減少したことなどにより、1,812億円と前連結会計年度末に比べ3億円減少しました。

負債は、流動負債の「その他」に含まれている前受金が減少したことなどにより、824億円と前連結会計年度末に比べ28億円減少しました。

純資産は、その他有価証券評価差額金が増加したことなどにより、988億円と前連結会計年度末に比べ25億円増加しました。

以上の結果、自己資本比率は1.5ポイント上昇して52.7%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ25億8千万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には190億6千万円（前年同期末は147億3千万円）となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、63億7千万円（前年同期比14億3千万円資金増）となりました。これは、前受金の減少による資金減14億6千万円があったものの、税金等調整前四半期純利益27億1千万円や減価償却費の内部留保24億2千万円があったことなどによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、16億2千万円（前年同期比10億7千万円資金増）となりました。これは、有形及び無形固定資産の取得による支出17億円があったことなどによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、21億3千万円（前年同期比34億5千万円資金増）となりました。これは、配当金の支払額11億3千万円や長期借入金の返済による支出8億6千万円があったことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期（平成29年4月1日～平成30年3月31日）の連結業績予想につきましては、現時点では平成29年8月8日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,622	20,625
受取手形及び売掛金	39,018	36,914
有価証券	209	195
商品及び製品	10,377	10,271
仕掛品	8,902	6,539
原材料及び貯蔵品	4,841	4,929
その他	4,263	3,752
貸倒引当金	△271	△264
流動資産合計	84,964	82,964
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	24,597	24,129
その他(純額)	27,146	26,795
有形固定資産合計	51,744	50,924
無形固定資産		
	668	632
投資その他の資産		
投資有価証券	40,308	44,419
その他	4,703	3,100
貸倒引当金	△859	△818
投資その他の資産合計	44,151	46,701
固定資産合計	96,564	98,258
資産合計	181,529	181,223
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,831	20,688
短期借入金	18,828	18,715
未払法人税等	1,347	963
賞与引当金	1,370	1,363
その他	9,776	7,910
流動負債合計	52,154	49,641
固定負債		
長期借入金	3,567	3,135
役員退職慰労引当金	160	126
退職給付に係る負債	11,456	11,467
その他	17,945	18,039
固定負債合計	33,129	32,769
負債合計	85,284	82,410

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,040	22,040
資本剰余金	17,407	17,407
利益剰余金	50,963	51,548
自己株式	△3,051	△3,123
株主資本合計	87,360	87,873
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,935	15,963
繰延ヘッジ損益	76	28
為替換算調整勘定	△7,876	△7,977
退職給付に係る調整累計額	△534	△416
その他の包括利益累計額合計	5,601	7,597
非支配株主持分	3,282	3,341
純資産合計	96,244	98,812
負債純資産合計	181,529	181,223

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	78,277	78,913
売上原価	65,355	65,964
売上総利益	12,921	12,949
販売費及び一般管理費	10,505	10,512
営業利益	2,415	2,436
営業外収益		
受取利息	46	27
受取配当金	435	477
持分法による投資利益	21	—
その他	235	178
営業外収益合計	739	683
営業外費用		
支払利息	243	184
持分法による投資損失	—	6
為替差損	262	—
その他	284	221
営業外費用合計	790	412
経常利益	2,364	2,708
特別利益		
関係会社株式売却益	—	106
投資有価証券売却益	—	64
固定資産売却益	—	45
特別利益合計	—	216
特別損失		
固定資産処分損	—	120
退職給付信託の一部返還に伴う影響額	—	51
投資有価証券売却損	—	41
減損損失	204	—
事務所移転費用	102	—
特別損失合計	307	213
税金等調整前四半期純利益	2,057	2,710
法人税等	644	904
四半期純利益	1,412	1,806
非支配株主に帰属する四半期純利益	77	88
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,335	1,717

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	1,412	1,806
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△202	2,027
繰延ヘッジ損益	△53	△48
為替換算調整勘定	△1,113	△94
退職給付に係る調整額	244	117
持分法適用会社に対する持分相当額	△61	8
その他の包括利益合計	△1,186	2,010
四半期包括利益	226	3,816
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	561	3,713
非支配株主に係る四半期包括利益	△335	102

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,057	2,710
減価償却費	2,434	2,426
減損損失	204	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	289	167
退職給付信託の一部返還に伴う影響額 (△は益)	—	51
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△32	△11
受取利息及び受取配当金	△482	△504
支払利息	243	184
為替差損益 (△は益)	47	△1
持分法による投資損益 (△は益)	△21	6
有形及び無形固定資産売却損益 (△は益)	△2	△55
有形及び無形固定資産除却損	20	16
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△22
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△106
売上債権の増減額 (△は増加)	3,313	1,975
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,490	2,317
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,186	△65
前受金の増減額 (△は減少)	927	△1,463
預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少)	5	△291
その他	335	△143
小計	5,662	7,190
利息及び配当金の受取額	578	515
利息の支払額	△214	△154
法人税等の支払額	△1,084	△1,174
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,942	6,377
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	321	△422
有価証券の取得による支出	△100	△43
有価証券の売却による収入	—	55
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,839	△1,706
有形及び無形固定資産の売却による収入	4	72
投資有価証券の取得による支出	△6	△6
投資有価証券の売却による収入	—	373
関係会社株式の売却による収入	—	179
貸付けによる支出	△0	△45
貸付金の回収による収入	1	5
その他	△77	△85
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,696	△1,623
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,088	425
長期借入金の返済による支出	△325	△861
自己株式の取得による支出	△1	△3
自己株式の売却による収入	0	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△30	△32
配当金の支払額	△1,131	△1,131
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△446	—
その他	△570	△535
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,593	△2,137
現金及び現金同等物に係る換算差額	△290	△34
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,637	2,581
現金及び現金同等物の期首残高	18,372	16,486
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,735	19,068

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益(損失)に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	繊維事業	化成品 事業	環境メカ トロニク ス事業	食品・サー ビス事業	不動産 事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	34,826	27,962	8,320	4,971	2,196	78,277	—	78,277
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	60	6	74	23	219	384	△384	—
計	34,887	27,969	8,394	4,994	2,415	78,661	△384	78,277
セグメント利益 又は損失(△)	323	904	△120	486	1,576	3,171	△756	2,415

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△756百万円には、全社費用△756百万円及びその他の調整額0百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:百万円)

	繊維事業	化成品 事業	環境メカ トロニク ス事業	食品・サー ビス事業	不動産 事業	計	調整額	合計
減損損失	—	—	—	—	204	204	—	204

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	繊維事業	化成品 事業	環境メカ トロニク ス事業	食品・サー ビス事業	不動産 事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	32,534	29,347	10,014	4,821	2,194	78,913	—	78,913
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	20	12	130	22	175	361	△361	—
計	32,554	29,360	10,145	4,844	2,370	79,275	△361	78,913
セグメント利益	314	896	9	424	1,531	3,176	△739	2,436

- (注) 1. セグメント利益の調整額△739百万円には、全社費用△741百万円及びその他の調整額2百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

3. その他

(参考情報)

(1) 従業員数の推移 (連結)

(単位: 人)

27年9月期	4,659
28年9月期	4,595
29年9月期	4,642
28年3月期	4,563
29年3月期	4,642

(注) 上記のほか、臨時社員・パートタイマー (29年9月期 1,107人) がおります。

(2) 有利子負債の推移 (連結)

(単位: 百万円)

27年9月期	32,296
28年9月期	23,253
29年9月期	21,851
28年3月期	27,388
29年3月期	22,396

(注) 長・短期借入金の合計金額であります。

(3) 設備投資額・減価償却費の推移 (連結)

(単位: 百万円)

	設備投資額	減価償却費
27年9月期	2,797	2,609
28年9月期	1,922	2,434
29年9月期	1,710	2,426
28年3月期	7,285	5,236
29年3月期	3,445	4,965
30年3月期 (予想)	5,600	5,000

(4) 平成30年3月期の通期業績予想 (連結)

(単位: 百万円)

		平成29年3月期	平成30年3月期 (予想)
売上高	繊維事業	69,509	70,000
	化成品事業	58,452	60,000
	環境メカトロニクス事業	19,156	21,200
	食品・サービス事業	10,295	10,500
	不動産事業	4,390	4,300
	合計	161,804	166,000
営業利益	繊維事業	971	1,400
	化成品事業	2,146	2,100
	環境メカトロニクス事業	473	500
	食品・サービス事業	1,054	1,100
	不動産事業	3,061	2,900
	消去又は全社	△1,546	△1,500
	合計	6,160	6,500
経常利益		6,579	7,000
親会社株主に帰属する当期純利益		3,588	4,700